

地域密着型サービス
令和3年度 第3回運営推進会議議事録
運営推進会議の開催状況について

法人名・事業所名	社会福祉法人幸清会 地域密着型特別養護老人ホーム財田の杜		
所在地	虻田郡洞爺湖町川東80-16		
担当者名・連絡先	施設長 吉田 恵	TEL 0142-82-4710	
従業者	従業者総数 24人（内訳：常勤20人 非常勤4人）（令和 3年 9月20日現在）		
うち夜勤の従業者	1日当たり事業所全体の勤務従業者数 2人		
運営推進会議の開催日	2021年 9月 30日 （令和3年度 第3回 ） ※新型コロナウイルス感染拡大防止措置に伴い書面会議による開催		
運営推進会議の構成員	所属（団体等）名	職 名	
入居者			
入居者			
入居者の家族			
地域住民の代表者	川東地区自治会	自治会長	
地域民生委員	民生委員	洞爺湖町民生・児童委員 洞爺湖町福祉調査員	
地域協力者	洞爺総合支所	支所長	
地域包括	地域包括センター	センター長	
市町村職員	洞爺湖町役場	介護保険グループ主幹	
地域社協	北海道社会福祉協議会	北海道地域福祉 生活支援センター委員	
地域消防	西胆振行政事務組合 消防本部 洞爺出張所	所長	
地域駐在所	伊達警察署 洞爺駐在所	所長	
施設職員	財田の杜	施設長	
施設職員	財田の杜	ケアマネジャー	
施設職員	財田の杜	生活相談員	
議題	○活動状況の報告・その他報告事項 ○会議の出席者からの事業所の活動状況の評価 ○事業所への要望、助言等の意見聴取		
利用状況	利用者総数 28人 （令和 3年 9月20日現在）平均介護度2.52 稼働率91.77%		
	要支援1：0人	要支援2：0人	要介護1：7人
	要介護3：7人	要介護4：6人	要介護5：0人
			要介護2：8人
			—

<p>交流・行事等の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の家族との交流 <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流内容 ・その他の事業 など 	<p>(直近約 2 か月又は前回報告以降)</p> <p>○利用者の家族との交流内容 ※8月、9月はありません。</p> <p>○地域との交流内容 ※8月、9月はありません。</p> <p>○その他の事業</p> <p>8月 3日 認知症介護実践者研修 ケアワーカー 1 名受講 (～6日)</p> <p>5日 虻田高校生施設見学ツアー (1名)</p> <p>9日 主任会議、身体拘束適正化・虐待防止検討委員会 施設内「褥瘡予防研修」</p> <p>10日 北海道医療大学 3 年生 相談援助実習受け入れ 1 名 (～20日、9月13日～10月1日)</p> <p>16日 職員健康診断</p> <p>19日 理事長・施設長・所長会議</p> <p>23日 行動規範委員会</p> <p>24日 令和3年度第1回法人監事監査、自主避難・消火訓練(夜間想定)</p> <p>26日 消防設備点検、建築設備等調査、入居判定委員会(訪問)</p> <p>27日 伊達高校生施設見学ツアー(3名)</p> <p>30日 給食・職員・防災会議、リスク管理委員会(事故・感染) 施設内「緊急時対応研修」</p> <p>9月 3日 財田の杜 お祭り</p> <p>8日 法人内「令和3年度入社職員フォローアップ研修」 ケアワーカー1名受講 (～9日)</p> <p>13日 主任会議</p> <p>21日 法人内「リスクマネジメント(事故防止の視点)」 ※ZOOM開催1名受講、合同「身体的拘束・虐待防止研修」</p>
<p>事故の状況</p>	<p>1 件 経緯 令和3年X月Y日 居室内をシルバーカー使用し移動した際に転倒。右脛を 1 cm程度 擦り剥き少量の出血がありガーゼで止血。本人より「トイレに行こうと してふらついた。背中が痛くてどうしようもない」と話を聞く。背部に 変色や腫れ等はない。その後痛みが徐々に強くなり、食事意欲等も低下 し、移動動作においても介助が必要な状態となる。翌日に受診しレント ゲン・CT 検査を実施。胸椎圧迫骨折と診断受け、事故となった。</p> <p>原因・再発防止策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原因 <ol style="list-style-type: none"> 1) 居室の扉を開ける際、普段と同じように自分の体と扉との距離感が 遠く手を伸ばす状態になっており、またコルセット着用や腰痛による 動きの制限、便意による焦りからバランスを崩してしまい転倒したの ではないか。 2) 本人の腰痛の状況やその日の体調等により、居室内の移動方法にば らつきがあった。 3) 定期薬の中に痛み止めと眠剤の服用があり、眠気やふらつきが出や すい状況にあったため転倒に繋がったのではないか。 4) 心理的な面では5月頃から実姉の逝去により気持ちに落ち込みも見 られており「体がこわい、痛い」が口癖にもなっていて身体機能低下 にもつながっていたのではないか。 ・ 再発防止策 <ol style="list-style-type: none"> 1) 2) 胸椎圧迫骨折により今は、痛みが強くコルセット着用し安静に 生活をするよう指示を受けているので、車いすで移動方法は統一。 今後状態が回復し行動範囲が増え、歩行もできるようになった場合 には、その時の身体機能を判断し、居室内・トイレ通所等の移動方 法を統一し、本人への移動時の注意を促していく。 3) 服用中の痛み止め・眠剤とも外すことはできないため、今後の 本人への支援においてふらつきがあり転倒の危険性が高いことを再 度職員が理解し介助を行う。

	4) 実姉の逝去に合わせて、今回の胸椎圧迫骨折によりさらに気持ちの落ち込みが見られている為、職員が食事やトイレ通所等介助にあたる時間帯に本人に声掛けを行い心理面の変化に敏感になるよう努め、その際の身体機能に注意し介助を行う。
ヒヤリハット報告	(8/1 ~ 9/20) 全14件 ヒヤリハットⅠ 5件 (内訳 転倒の危険4件、座り損ね1件) ヒヤリハットⅡ 9件 (内訳 転倒4件、変色3件、尻餅2件) 苦情ヒヤリハット 0件 (内訳:)
相談・苦情の状況	(直近約2か月又は前回報告以降) 苦情 無 相談 10件 (内訳: 入退居3件、面会2件、白寿祝い1件、見学1件、申し込み1件、他2件)
身体拘束の状況	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 身体拘束等適正化委員会(直近の開催日 令和3年8月9日)
感染症等の発生状況	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
その他の報告事項	・「新型コロナウイルス感染症の予防策及びご家族への対応」
添付資料	有 ・財田の杜 運営推進会議報告資料 ・運営推進会議についてのご意見用紙 ・「財田の杜通信」「ユニット広報誌」
会議出席者より 事業所の活動状況の 評価事業所への 要望・助言等	*ご意見 ※書面により下記のようにご意見・ご助言をいただいております。 ●A氏 新型コロナウイルスも全国的にやや減少傾向にあり、緊急事態宣言解除となり多少気持ち的には安心感を思わせる日々が続いていますが、入居者さん、ご家族の方々の心のよりどころ、面会等も心待ちにしていると思いますが、リスクの伴う行動はまだまだといったところでしょうか。いずれにしても、感染症対策マニュアルに従い感染症対策の徹底そして入居者さんが笑顔で楽しく過ごせますように！ ●B氏 日頃より、新型コロナウイルス感染症対策にご尽力いただいております管理者はじめ職員の皆様に対し、心より感謝申し上げます。北海道では9月30日をもって、緊急事態宣言が解除されましたが、秋の行楽シーズンを迎え、人の移動の活発化により再拡大に繋がることを国の専門家は指摘されていることから、さらなる感染予防の徹底が求められておりますので、今後も今まで同様の取り組みをお願い致します。 ●C氏 9月末で緊急事態宣言も解除となり、少しずつ元の生活に戻っていくことも考えられますが、感染症対策については継続せざるを得ない状況だと思います。関係機関との連携強化に努めます。 ●D氏 緊急事態宣言発令中様々な行事を実施し入居のご家族は、安心され充実した日常生活が送れていると思う。入居者・ご家族のLINEを使用したテレビ電話の反応がどうだったのかわりたかった。胸椎6番圧迫骨折の入居者の現状「回復傾向の有無」、新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る衛生管理の長期化が考えられるので健康に留意し頑張ってください。

●E氏
引き続き、新型コロナウイルス感染症の予防対策についてご協力いただき、入所者及び職員の皆様の安全対策の徹底をお願いします。

●F氏
母の事、宜しくお願い致します。コロナ落ち着いてくれますように職員の皆様も気を付けてください。

※その他、特にご意見やご質問などはなかった。

次回の会議は、令和3年11月25日（木）13：30～の開催としている。

以上で、会議を終了する。